

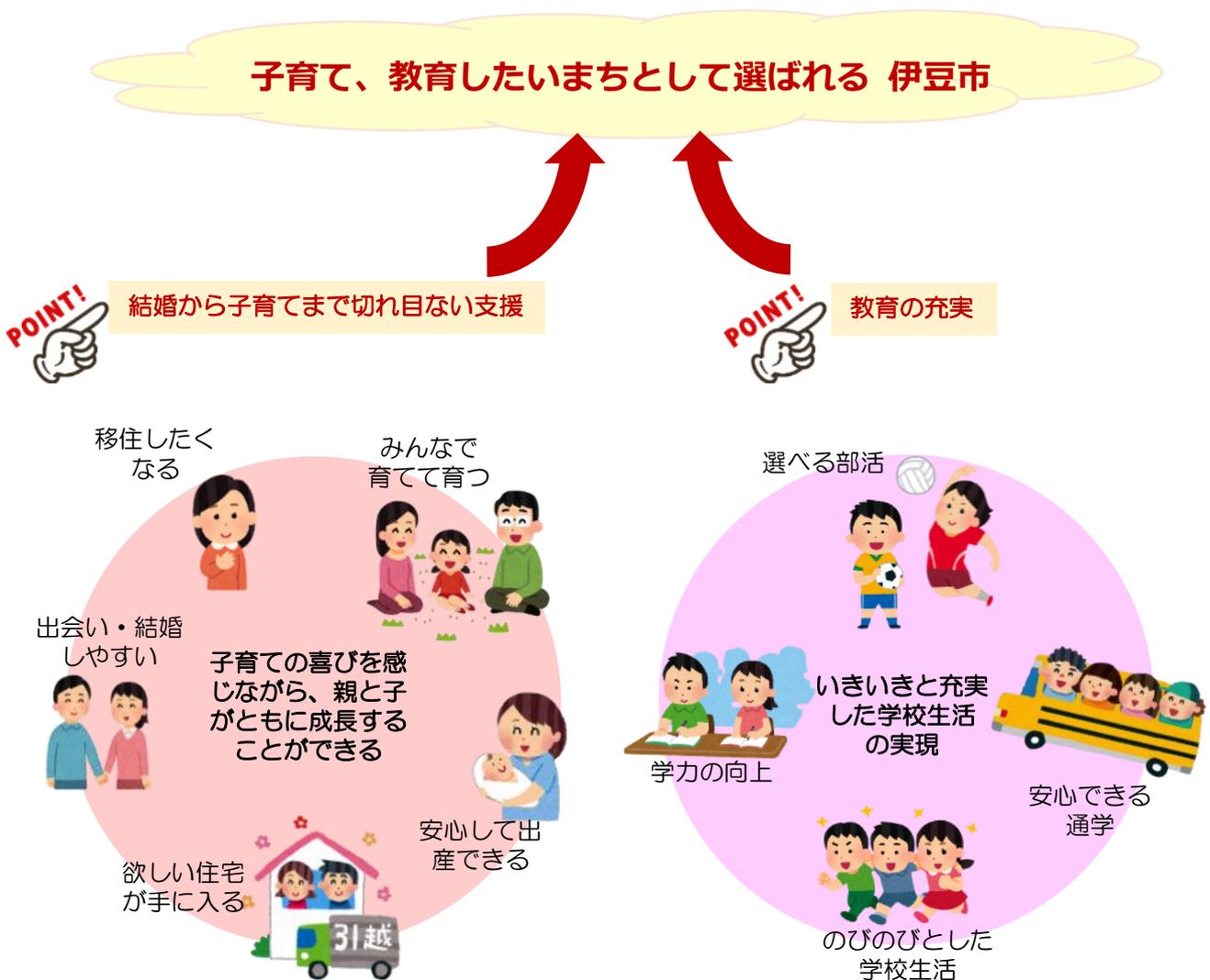
# 重点目標 1 少子化対策と次代を担う人材の育成

＜重点目標 1 の基本方針＞

子どもたちが心身ともに健やかに育つとともに、親も安心して子どもを産み育て、子育ての喜びを感じながら子どもと共に成長していく「育てて育つ」の子育て支援を行い、ここで子育てを楽しみたい、暮らしたいと思える環境の実現を目指していきます。

伊豆市独自の魅力ある学校運営を行い、児童生徒がいきいきと充実した学校生活を送るとともに、将来の夢や希望を育み、社会でより良く生きていけるための教育環境の実現を目指していきます。

重点目標 1 の政策イメージ（案）



## 政策 1 結婚から子育てまで切れ目ない支援

---

結婚や家庭を持つことへの夢を抱き、その夢を叶えることができるよう、出会いの支援を行うとともに、妊娠・出産・子育てと他市よりも優位なきめ細かな支援を行い、子育て環境の充実を図ります。

また、移住・定住に関する各種支援策を展開するとともに、本市の魅力向上や心地よい居住環境の創出に努め、更なる移住・定住を促進します。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 少子化突破と「育てて育つ」の推進

施策 2 若者・ファミリー層の移住・定住の促進

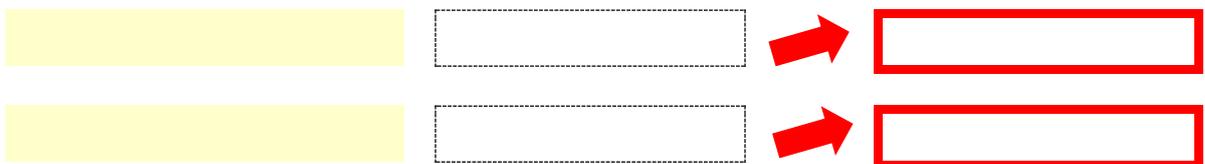
## 政策 2 教育の充実

---

児童生徒の可能性を広げるため、多様化する社会の中でより良く生きていくための教育環境づくりを展開していきます。

また、豊かな心・確かな学力・健やかな体を育むことができる教育環境の整備を行い、「新時代の新たな学校づくり」に取り組みます。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 多様化する社会に対応する教育環境づくり

施策 2 未来を拓く子どもたちを育む教育環境づくり

# 重点目標 1 少子化対策と次代を担う人材の育成

## 政策 1 結婚から子育てまで切れ目ない支援

### 施策 1 少子化突破と「育てて育つ」の推進



#### <本市の現状>

- 😊 市では、県内トップクラスの子育て支援を実施
- 😊 2～3人子どもがいる家庭が多い
- 😊 子育て世代は本市の子育てサービスに満足している（特に保育まで）
- 😞 未婚率が高い  
 (男性(30～34 歳)56.4%＝県内ワースト5位、女性(25 歳～29 歳)69.8%＝県内ワースト1位  
 【平成 27 年国勢調査】)
- 😞 他市町の立地などにイメージ負けしてしまっている

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 地域とのあたたかいつながり、行政の子育て支援などにより、「伊豆市で子育てしたい」と本市の子育て環境が選ばれる
  - ・結婚や子育てに関心を持つ人が増え、結婚や子育ての希望が叶う
  - ・「伊豆市は子育てしやすいまちだ」と市民の実感を得られる
  - ・親子で楽しい子育てができる

- ✓ 出会いの支援と婚活を応援!
- ✓ きめ細やかな子育てサービス!
- ✓ イメージアップ

改善

より良く

#### <少子化突破に向けた3つの作戦>

作戦 1	作戦 2	作戦 3
未婚解消に向けた出会い・婚活支援を行います	みんなが笑顔になる子育て支援を行います	伊豆市のよさを発信するプロモーションを行います



## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります

### 作戦1. 未婚解消に向けた出会い・婚活支援

本市の少子化における最大要因となっている未婚率の高さを解消するため、入口である「出会い」や「結婚」の機会づくりを行い、結婚から妊娠・出産・子育てといった好循環を生み出します。

【主な担当課】

地域づくり課 / 企画財政課 / 市民課 /  
子育て支援課

【主な取組】

- ✓ 市内ブライダル事業者と連携した出会いの場の支援

---

- ✓ 婚活事業者のノウハウを活用したイベントの実施

---

- ✓ AIを活用した婚活マッチング支援（県との連携事業）

### 作戦2. 「育てて育つ」のみんなが笑顔になる子育て支援

本市の子育てのキャッチフレーズ「育てて育つ」のもと、行政や地域によるサポート、つながる場の創出などにより、子育ては一人じゃないという安心感やゆとり、そして、幸せを実感できる子育て支援を推進します。

【主な担当課】

子育て支援課 / 学校教育課 /  
地域づくり課 / 企画財政課

【主な取組】

- ✓ 地域で子育てを支える人材や団体の育成

---

- ✓ 子育てママの居場所の創出（生きいきプラザの拠点化）

---

- ✓ 放課後の子どもの居場所づくり

---

- ✓ 働くママのライフスタイルに対応した支援

### 作戦3. 伊豆市のよさを発信するプロモーション

本市の子育てや教育のよさ、暮らしなどの魅力を市内外に効果的に発信し、市民には「住み続けたいまち」、市外の方々には「住んでみたいまち」だと思ってもらえる、プロモーションに力を入れていきます。

【主な担当課】

企画財政課 / 子育て支援課 / 社会教育課 /  
地域づくり課

【主な取組】

- ✓ 子育てや移住・定住を促進する大型看板やデジタルサイネージの設置とPR

---

- ✓ 市民と一緒に伊豆市のよさを発信できる「#伊豆市いいね」※など、SNSの有効活用

※「#伊豆市いいね」

SNSを通じて、伊豆市の風景やグルメなどの写真や動画に「#伊豆市いいね」をつけて発信し、みんなで伊豆市をPRする取り組み。

# 重点目標 1 少子化対策と次代を担う人材の育成

## 政策 1 結婚から子育てまで切れ目ない支援

### 施策 2 若者・ファミリー層の移住・定住の促進

(写真)

#### <本市の現状>

- ☹️ 若者定住補助金が効果を出している。(平成 22 年の運用開始から合計 377 件 1,388 人が利用。市内：239 件 929 人、市外：138 件 459 人)
- ☹️ お試し住宅を 31 件の利用のうち、5 件の移住が実現 (R 1、2 実績)
- ☹️ 都市計画の見直しにより、鉄道駅から約 1km 圏内への住宅立地件数が増加。(H28~R 2 実績：延べ 50 件)
- 😞 農地などの規制により、住宅開発できる土地が少ない
- 😞 空き家のストックが少ない (空き家は多くあるが、貸してもらえない)

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 足もとにある地域の豊かさや都会・街中にはない魅力に気づき「伊豆市に住みたい」と選ばれる
- ・自分の住んでいる地域を愛し、そこでのライフスタイルを楽しんでいる人が増える
- ・若者の移住・定住がさらに進む
- ・居住環境が整っていて、子どもやファミリー層が安心して暮らしていける

✓ 移住・定住のサポート充実!  
✓ 住まいのエリア化!

改善

#### <移住・定住の促進に向けた 2 つの作戦>

より良く

作戦 1	作戦 2
移住希望者に柔軟に対応できるように、取り組みの拡充を行います	良好な居住環境の整備と重点空き家*の活用を行います

<ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



**作戦1. 移住・定住のさらなる促進に向けた柔軟な対応**

若者やファミリー層の移住・定住促進のための住宅補助・家賃補助の継続に加え、移住希望者に対して、柔軟な対応ができる窓口機能の強化、充実を図ります。

また、土肥地区に設置したお試し住宅が移住・促進につながっていることから、他地区にもお試し住宅を設置するなど、1ターン、Uターンも含めた更なる移住・定住の促進を図っていきます。

【主な担当課】

地域づくり課 / 資産経営課 / 企画財政課 /

【主な取組】

- ✓ さらなる移住・定住に向けた若者定住施策の拡充

---

- ✓ さらなる移住希望者獲得に向けたお試し住宅の拡充

---

- ✓ ひとり親の受け入れに対する対象職種の拡充

---

- ✓ 移住者が安心できるフォローアップ

**作戦2. 良好な居住環境の整備と重点空き家の活用**

人口が減っていく中で都市機能を維持するためには、一定の居住人口の確保が重要となります。そのため、鉄道駅周辺や小学校のある土肥地区、青羽根地区、八幡地区周辺といった拠点性の高いエリアに日常生活に欠かせない生活環境を整えるとともに、新たな住宅地の創出や活用可能空き家を重点的に活用していきます。

【主な担当課】

都市計画課 / 地域づくり課 / 企画財政課 / 資産経営課

【主な取組】

- ✓ 鉄道駅周辺や土肥地区・青羽根地区・八幡地区周辺への住宅地の創出

---

- ✓ 鉄道駅周辺や土肥地区・青羽根地区・八幡地区周辺にある活用可能空き家の積極的な活用

---

- ✓ 片づけやリフォーム補助による空き家活用の推進

※重点空き家

拠点性の高い鉄道駅周辺や小学校のある土肥地区・青羽根地区・八幡地区周辺において、移住・定住の促進に向けて重点的に活用を推進する空き家。

# 重点目標 1 少子化対策と次代を担う人材の育成

## 政策 2 教育の充実

### 施策 1 多様化する社会に対応する教育環境づくり

(写真)

#### 〈本市の現状〉

- 😊 7名のALT<sup>\*1</sup>による充実した英語教育を実施中
- 😞 一人一台PC導入済。今後のICT教育<sup>\*2</sup>の運用にビジョンが必要
- 😞 さらなる子育て支援として、保育期における“伊豆市の教育の特色”を明確にする必要がある
- 😞 児童発達支援センターの運営ビジョンを明確化する必要がある
- 😞 充実した総合学習を実施しているが、新たに実学教育<sup>\*3</sup>にかける時間の確保が課題

#### 〈市民と共有したいありたい姿〉

- 💡 伊豆市ならではの教育の特色を展開し、子どもの知・徳・体がしっかり磨かれ、生きる力が育まれている
- 伊豆市の教育環境が子育て世代に共感され、転入も含めて子どもの数が増えていく
- 地域や家庭が学校と一体となって、次代を担う子どもを育成している

✓教育のウリ・目玉づくり！  
✓ライフステージを  
ふまえた段階的な教育支援！

改善

#### 〈よりよい教育環境づくりに向けた2つの作戦〉

より良く

作戦 1	作戦 2
多様化する社会でより良く生きていくための教育環境づくりを行います	市独自の一貫した教育を行うため、幼児教育と学校教育の連携強化を行います

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 社会でより良く生きていくための教育環境づくり

児童生徒の主体的・対話的な学びを尊重するとともに、多様な価値観の理解、自ら課題を設定していく能力の習得を目指します。また、本物に触れる体験や経験により、人生の幅を広げ、確かな生きる力を育むための実学教育を支援するとともに、基礎学力の確実な定着・向上を図るための支援を行います。

**【主な担当課】**

学校教育課 / 社会教育課 / 企画財政課 /

**【主な取組】**

- ✓ 伊豆市独自のALTによる英語教育の推進

---

- ✓ ICT教育にかかる指導者の育成・外部講師との連携

---

- ✓ 子どもの生きる力を育む実学教育の支援

---

- ✓ 基礎学力向上のための学習支援

### 作戦2. 幼児教育と学校教育の連携強化

顔の見える一貫した子育て相談体制を構築し、保護者の子どもの成長における悩みや不安を軽減します。また、こども園や保育園から小学校、小学校から中学校へ円滑に接続し、子どもたちのスムーズな学びを図ります。さらに、小さい時から体操教室やALTによる英語教育を行うなど、伊豆市独自の幼児教育を確立します。

**【主な担当課】**

子育て支援課 / 学校教育課

**【主な取組】**

- ✓ 幼小中連携したワンストップ相談窓口の開設

---

- ✓ 幼児期からの知育・体育の推進

---

- ✓ 児童発達支援センターによる適切な支援

※<sup>1</sup>ALT

日本人教師の補佐を行う、外国語を母国語とする外国語指導助手。

※<sup>2</sup>ICT教育

教育現場において情報通信技術を活用した取り組み。

※<sup>3</sup>実学教育

実験や体験を通じて疑問や課題を発見し、自らの力で解決をすることで、将来社会に出たときに実践できる考え方や知識を身につけるための教育。

# 重点目標 1 少子化対策と次代を担う人材の育成

## 政策 2 教育の充実

### 施策 2 未来を拓く子どもたちを育む学校環境づくり

(写真)

#### <本市の現状>

- 😊 学校支援員が数多く配置され、児童生徒のきめ細かなフォローを実施中
- 😊 他市町より手厚いバス通学の支援を実施中
- 😞 小中学校ともクラス替えができない学年が発生している
- 😞 部活動において、合同チームでの活動が発生している
- 😞 児童生徒数の減少により、教科担任の確保が難しい状況
- 😞 登下校の際のバスを待つ環境や歩行者空間の安全性が十分でない

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 一定規模の集団の中で伸び伸びと学べ、切磋琢磨できる教育環境が整備されている
- 多様な外部講師により、児童生徒の様々な学びの場を創出します
- 部活動にいきいきと打ち込める環境がある
- 安心して学校に通える環境が整備され、不便なく登下校できる

✓ スクールライフの充実!  
✓ 通いたくなる学校づくり!

改善

#### <よりよい学校環境に向けた2つの作戦>

より良く

作戦 1	作戦 2
子どもたちが通いたくなる魅力ある学校づくりを行います	安全安心な通学環境の整備を行います

<ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



**作戦 1. 新中学校づくりと小中・義務教育学校の教育の充実**

3校のアイデンティティを継承し、新しい魅力を生み出す新中学校を整備し、未来を拓く子どもたちを育む教育環境を創出します。また、各小中学校を中心に、地域の多様な人材の活用や児童生徒の地域活動への参加などにより、地域と学校の交流を促進します。

【主な担当課】

学校教育課 / 建設課 / 企画財政課 / 新中学校 WG

【主な取組】

- ✓ 新中学校の建設  
(令和 7 年 4 月開校予定)

---

- ✓ 地域や外部講師と連携した教育の推進

---

- ✓ 子どもたちの思い出に残るアイデンティティの創出

**作戦 2. 安全安心な通学環境の整備**

関係機関（PTA、警察、交通安全指導員、道路管理者、学校、教育委員会等）と連携して児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図ります。

また、新中学校の通学に際し、各地区の生徒が不便なく登下校できるような環境整備に努めます。

【主な担当課】

地域づくり課 / 学校教育課 / 建設課 / 新中学校 WG

【主な取組】

- ✓ 通学に関するバス路線の整備

---

- ✓ 通学路環境の整備

---

- ✓ 新中学校における自転車通学環境の整備

---

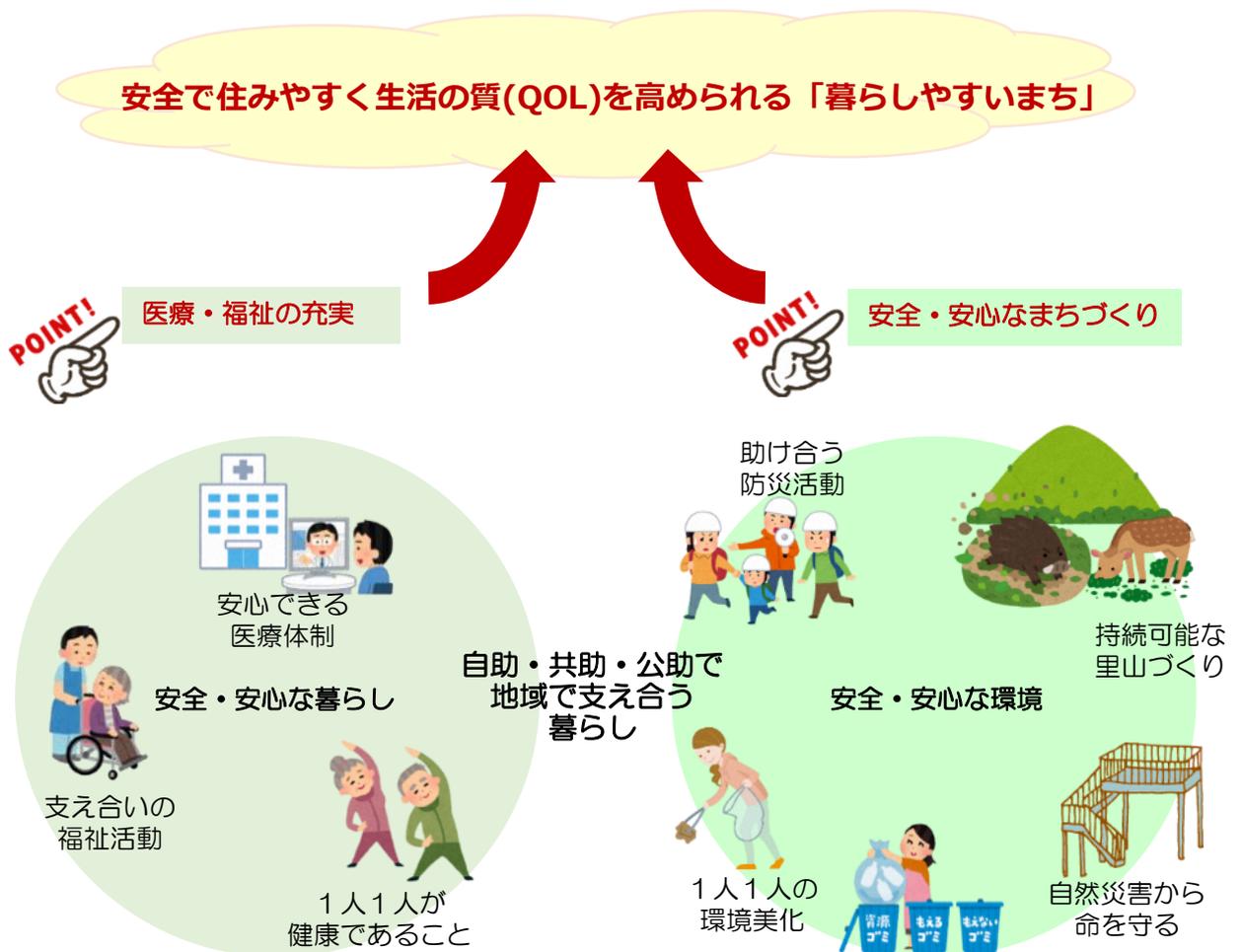
- ✓ 市内学校におけるバス待ち環境の整備

# 重点目標2 安全で心地よい生活環境の創出

＜重点目標2の基本方針＞

2025年（令和7年）には高齢人口が生産年齢人口を上回ると国立社会保障・人口問題研究所が予測しています。このような社会推移の中にあっても、自助（自分自身でできること）、共助（地域との支え合い）、公助（公的支援）のバランスが取れた生活環境づくりを行います。特に不足しているとされている共助を推進していくことで、お互いに支え合うことによって福祉・医療・防災・環境における安全で住みやすく生活の質（QOL<sup>※</sup>）を高められる、暮らしやすいまちづくりを目指します。

重点目標2の政策イメージ（案）



## 政策 1 福祉・医療の充実

---

人生 100 年時代において、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の実情に応じた福祉活動を展開し、生活の質（QOL）の向上に努めます。

また、市民一人ひとりが、ライフステージに応じた身体と心の健康づくりに取り組める環境を整備するとともに、国や県、医師会などと連携し、地域医療体制の強化を図ります。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 共に支え合う地域福祉の推進

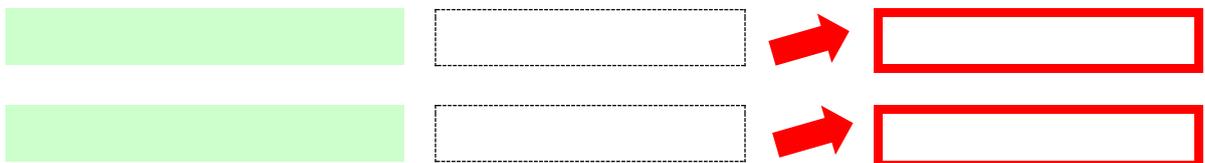
施策 2 伊豆市版地域医療体制の構築

## 政策 2 安全・安心なまちづくりの推進

---

南海トラフ巨大地震や全国で頻発している台風や集中豪雨などの自然災害、日常生活を一変させた新型コロナウイルスなど、市民の安全を脅かす要因が多様化していることを踏まえ、様々な災害に対応するための危機管理体制の構築や防災力の強化を図ります。また、市民・事業者・行政が連携・協力し、日々の暮らしにおいて環境にやさしい活動を確実に実践し、持続可能な社会の実現に貢献します。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 災害などリスクに強いまちづくり

施策 2 持続可能な環境未来都市の実現

※QOL（クオリティオブライフ）

物質的な豊かさだけでなく、精神面を含めた生活全体での豊かさや自己実現を踏まえて、生活の質を評価する概念。

## 重点目標2 安全で心地よい生活環境の創出

### 政策 1 福祉・医療の充実

#### 施策 1 共に支え合う地域福祉の推進

(写真)

##### 〈本市の現状〉

- 😊 現在、5箇所の高齢者の居場所が開設され、助け合い・支え合いなどの活動を実施中
- 😊 市民主体の居場所づくりがさかんに行われている（ロコレOB会※1が市内28箇所で活動中）
- 😊 行政・社会福祉協議会・包括支援センターなどが連携し、高齢者のきめ細かな生活支援を実施中
- 😞 生活支援の担い手が今後さらに必要
- 😞 認知症の高齢者の増加が予想される〔2025年の推計値は2,429人（高齢者の20.6%）〕

##### 〈市民と共有したいありたい姿〉

- 💡 豊かなコミュニティが形成され、主体的な助け合い・支え合いが地域の中で行われている
- ・誰もが住み慣れた地域で安心して不便なく暮らせる
- ・困った時にいつでも相談ができる環境が整っている

- ✓ 住みやすい、住み続けたい環境づくり！
- ✓ みんなで助け合える活動支援！

改善

##### 〈地域福祉推進に向けた作戦〉

作戦

地域で安心して暮らすための  
支え合い活動を促進する  
取り組みを行います

より良く

<ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



**作戦1. 地域で安心して暮らすための支え合い活動の促進**

自助（自分自身でできること）、共助（地域との支え合い）、公助（公的支援）の適切な組み合わせにより、市民や福祉関係者が連携・協力し、地域の福祉に関する問題に取り組んでいきます。また、住み慣れた地域であたたかさを感じながら安心して暮らせるよう、共助を大切にしている取り組みを促進していきます。

【主な担当課】

健康長寿課 / 社会福祉課

【主な取組】

- ✓ ロコトレを中心とした高齢者の居場所づくり

---

- ✓ 認知症に対する早期の対応

---

- ✓ 生活支援の担い手としての社会参加の促進

---

- ✓ 移動支援や買い物弱者を支援する体制づくり

---

- ✓ 地域包括ケアシステム<sup>※2</sup>の構築と実現

---

- ✓ 気軽に相談できる福祉相談センターの設置



※1 ロコトレOB会

「ロコトレ」を中心に自主的な健康づくりに取り組む住民有志の運営団体。「ロコトレ」とは、ロコモティブシンドロームを防止するために、バランス能力や筋力をつけるための軽い運動のこと。

※2 地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるように、「住まい」・「医療」・「介護」・「予防」・「生活支援」が一体的に提供される体制。

## 重点目標 2 安全で心地よい生活環境の創出

### 政策 1 福祉・医療の充実

#### 施策 2 伊豆市版地域医療体制の構築

(写真)

##### <本市の現状>

- 伊豆赤十字病院が二次救急を担っている
- 療養病床が県平均に比べ極めて多い  
(10万人あたり病床数…県 246、市 1,533)  
※2018年 地域医療機関情報システム
- 医師の高齢化や後継者不足により、診療所数の減少が危惧される
- 往診可能な医師も数少ないため、在宅医療の実施に課題がある
- 糖尿病及びその予備軍の比率が高い  
(40~74歳のHbA1cが男女ともに県平均より高い)

##### <市民と共有したいありたい姿>

- 市民が心身ともに健康で、自分らしく暮らすことができる
- 身近なところに安心して診察を受けられる環境が整っている
- 市民一人ひとりが自発的に健康づくりに取り組み、いきいきとした生活を営んでいる
- 本人や家族が望む生活が継続できている

✓万が一な時でも安心なサポート!  
✓心と身体の元気のために!

改善

##### <地域医療体制構築に向けた2つの作戦>

作戦1	作戦2
安心した暮らしに向けて地域医療の維持・発展を行います	市民主体の健康づくりを促進する取り組みを行います

より良く

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 安心した暮らしに向けた地域医療の維持・発展

医師不足や高齢化、医療施設の偏在、医療・介護に対するニーズの増加などに対応するため、保健・医療・福祉が連携する地域医療体制の強化や通院負担を軽減するオンライン診療の導入を図るなど、将来に不安のない地域医療を確立するための準備を進めます。

【主な担当課】  
健康長寿課

#### 【主な取組】

- ✓ 地域医療検討会による 10 年後の地域医療のあり方の検討

---

- ✓ 地域医療対策モデル事業<sup>※1</sup>の推進

---

- ✓ 中伊豆温泉病院の移転・新築支援（令和5年度開院予定）

### 作戦2. 市民主体の健康づくりの促進

運動や食事などの生活習慣の改善や地域と連携した健康づくりの推進など、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図ります。また、こころに問題を抱える人や自ら命を絶つ人が増加する傾向にある中、こころの健康に対する対策を進めていきます。

【主な担当課】  
健康長寿課

#### 【主な取組】

- ✓ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

---

- ✓ げんきプロジェクト<sup>※2</sup>を基盤とした健康づくり

---

- ✓ 糖尿病性腎症の重症化予防に向けた取り組みの実施

---

- ✓ こころの健康づくりの推進

※1 地域医療対策モデル事業

土肥支所5階の旧保健福祉センターをサテライトオフィスとして活用し、24 時間体制の訪問看護と遠隔診療を融合させたモデル事業の実施。

※2 げんきプロジェクト

「減塩」の“げ”、「運動」の“ん”、「禁煙」の“き”の三本柱を推進し、健康なまちづくりを目指すための伊豆市独自の取り組み。

## 重点目標2 安全で心地よい生活環境の創出

### 政策 2 安全・安心なまちづくりの推進

#### 施策 1 災害などリスクに強いまちづくり

(写真)

##### 〈本市の現状〉

- 😊 土肥地区では、全国初の海のまち安全創出エリア・津波災害特別警戒区域（オレンジゾーン）※の指定を行い、観光防災まちづくりを展開中
- 😞 同報系防災行政無線の老朽化への対応が必要
- 😞 津波や土砂災害等に対する防災力の強化が必要
- 😞 激甚化する自然災害や新型コロナウイルスを踏まえた適切な避難所対応が必要
- 😞 有事に対応できる職員の育成と体制づくりが必要

##### 〈市民と共有したいありたい姿〉

- 💡 市民一人ひとりの防災意識が高く維持され、有事の際にとるべき行動の理解が浸透している
- ・ いざというときに支え合える共助の価値観が共有されている
- ・ 行政と地域の連携がしっかりと取れた体制が確立され、地域防災が強化されている

～安全のための危機管理～  
✓被災を防ぐ防災対策！  
✓被害を減らす減災対策！

改善

〈リスクに強いまちづくりに向けた作戦〉

作戦 1

防災・減災の取り組みを進め  
地域防災の強化を行います

より良く



## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります

### 作戦1. 地域防災の強化

市民の防災意識の啓発や災害時における危機管理体制の強化に努めるとともに、防災拠点となる施設や公園の整備を推進します。

また、国土強靱化計画と連携した防災・減災の取り組みを進め、受援体制や備蓄の充実などを図ります。

#### 【主な担当課】

危機管理課 / 都市計画課 / (仮称)日向公園WG

#### 【主な取組】

- ✓ 同報系防災行政無線のデジタル化（令和4年度完成）

---

- ✓ 津波避難複合施設の建設（令和5年度完成）

---

- ✓ (仮称)日向公園の整備（令和7年度完成）

---

- ✓ 防災備蓄倉庫の整備（令和7年度完成）

---

- ✓ 備蓄のストックヤードの確保

---

- ✓ 避難所環境の整備と運営におけるボランティアの育成

---

- ✓ 職員向け災害研修と実施体制づくり



#### ※海のまち安全創出エリア・津波災害特別警戒区域（オレンジゾーン）

「なんとしても人命を守る」ため、避難に配慮を要する方々が利用する施設を地震や津波に対して安全なものとし、津波を「避ける」ことができるように強化する区域。

## 重点目標 2 安全で心地よい生活環境の創出

### 政策 2 安全・安心なまちづくりの推進

#### 施策 2 持続可能な環境未来都市の実現

(写真)

#### 〈本市の現状〉

- 伊豆市全域の景観計画を策定し、現在までに3地区（修善寺温泉・桂谷地区、湯ヶ島地区、修善寺駅前地区）の重点地区を指定。
- イズシカ問屋は、令和2年3月に県内初のシビエ認証を取得
- 有害鳥獣への対策を計画的に展開し、効果が得られている
- 衛生施設が老朽化し、毎年多額の修繕・補修が必要な状況
- 市内で廃棄物の不法投棄等が発生

#### 〈市民と共有したいありたい姿〉

- 市民一人ひとりの何気ない行動が、環境にやさしい取り組みになっている
- 新しい廃棄物処理施設が地球温暖化や循環型社会の形成に貢献している
- 美しい里山の保全とイズシカ問屋の有効活用が両立されている

～環境にやさしい～  
✓施設づくり！  
✓人へのアクション！

改善

#### 〈環境未来都市実現に向けた3つの作戦〉

より良く

作戦1	作戦2	作戦3
循環型環境施設の整備を行います	環境にやさしい取り組みを行います	有害鳥獣対策とイズシカ問屋の有効活用を行います

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 循環型環境施設の整備

地球温暖化や環境負荷の低減を意識し、市民生活や事業活動に3R(リデュース・リユース・リサイクル)を定着させるための取り組みを行います。また、新施設により、限られた資源の有効活用やごみ処理に伴う余熱による発電など、循環型社会の形成に努めます。

**【主な担当課】**

環境衛生課 / 清掃センター /  
伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合

**【主な取組】**

- ✓ 新ごみ処理施設の建設  
(令和4年度完成)

---

- ✓ 新リサイクルセンターの整備  
(令和6年度完成)

### 作戦2. 環境にやさしい取り組みの推進

美しいまちの維持に向けて、不法投棄やごみのポイ捨て防止など、市内の環境美化に努めるとともに、本市の豊かな自然や長い歴史により育まれてきた魅力ある景観資産<sup>※1</sup>の保全に努めます。

**【主な担当課】**

環境衛生課 / 清掃センター / 都市計画課

**【主な取組】**

- ✓ 不法投棄に対する監視・指導体制の強化

---

- ✓ 家庭用蓄電池整備の推進

---

- ✓ 景観計画の見直しと景観重点地区の拡充

### 作戦2. 有害鳥獣対策とイズシカ問屋の有効活用

美しい里山の保全や野生鳥獣から農作物を守るため、有害鳥獣対策を継続して推進するとともに、県内初のジビエ認証<sup>※2</sup>を取得したイズシカ問屋を有効活用し、ブランド力や収益の向上を図ります。

**【主な担当課】**

農林水産課

**【主な取組】**

- ✓ ジビエ認証を生かしたブランディング

---

- ✓ イズシカ問屋の視察の有料化

---

- ✓ 狩猟後継者の育成

**※1 景観資産**

地域の景観や魅力に気づくことで、暮らしに誇りが持てるよう、身近な景観資源を市民とともに発掘し、市内外に周知しながら保全していくための制度。

**※2 ジビエ認証**

厚生労働省が定める衛生管理指針に基づき、適切な処理を行っている施設を認証する制度。令和2年3月にイズシカ問屋が県内で初めて認証された。

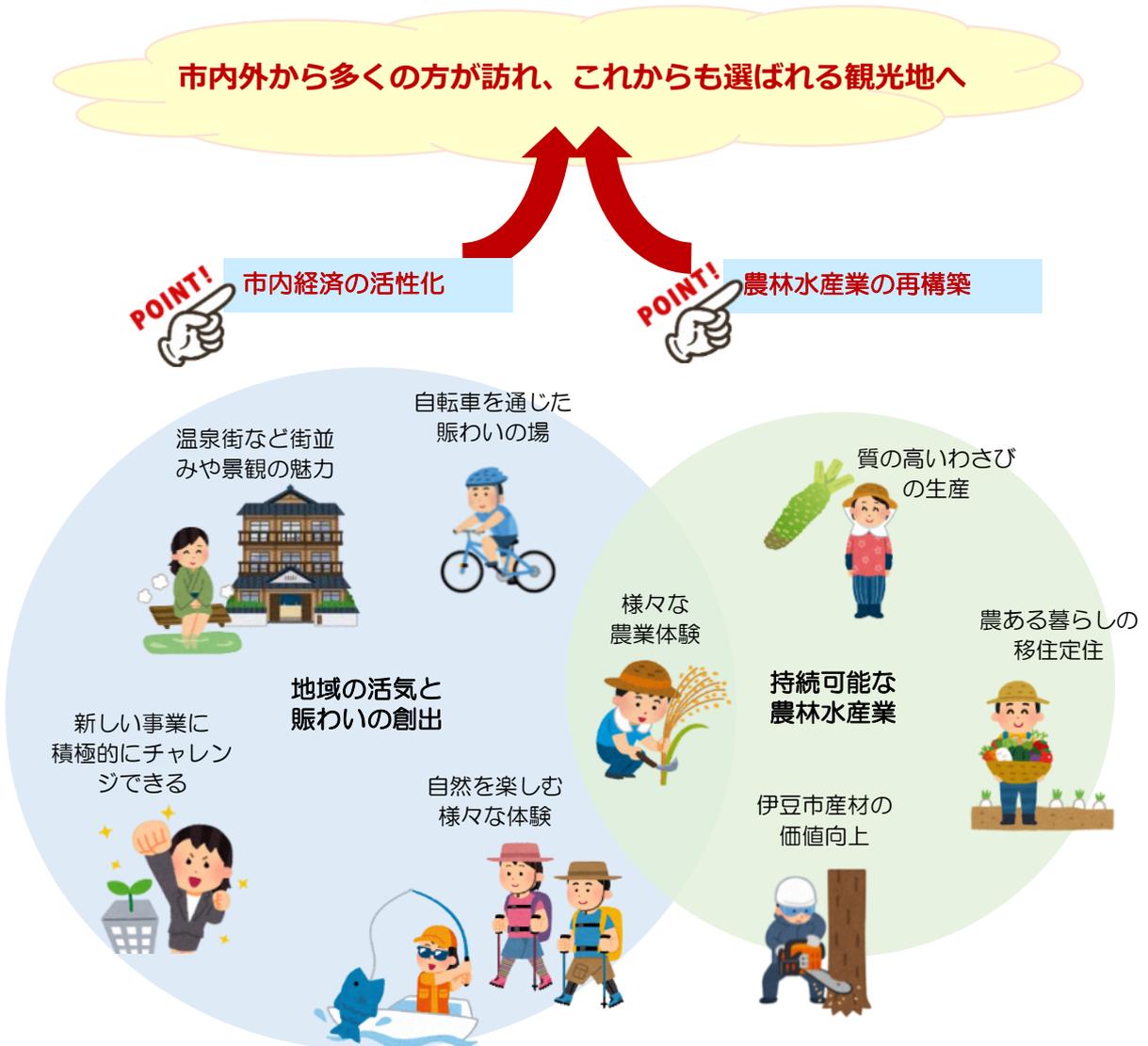
# 重点目標3 産業力の強化

＜重点目標3の基本方針＞

風情と風格が漂う国際的な観光文化環境都市の実現のため、本市が誇る自然、歴史、文化、街並みや景観、スポーツなどの地域資源を活用し、その魅力を高めることにより、市内外から多くの方が訪れ、伊豆市がこれからも選ばれる観光地として持続的に発展していくことを目指します。

また、市内経済の活性化に向け、引き続き企業誘致・留置に努めるとともに、やる気のある人が新しい事業にチャレンジすることを応援する気風が定着することにより、地域の活気と賑わいが生み続けられていくことを目指します。

重点目標3の政策イメージ（案）



## 政策 1 地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」

本市の豊富な観光資源の価値をさらに高め、交流人口の増加や伊豆市のファンをつくることにつなげるとともに、東京 2020 大会開催を契機としたスポーツ・文化を通じた交流の促進を図ります。

また、産業振興のため、起業支援や企業誘致・留置に取り組み、雇用の創出につなげて働きやすい環境を整えていきます。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 東京2020大会を契機とした自転車まちづくりの推進

施策 2 伊豆市版DMO※による観光地域づくりの推進

施策 3 企業誘致や雇用創出に向けた取り組みの強化

## 政策 2 地域の魅力の創造「豊富な農林水産資源の再構築」

中山間地域と海岸（水産）地域が持つ豊かな地域資源を生かすための生産基盤の整備、商品の高品質化・ブランド化、地産地消を促進するとともに多様な担い手の育成・確保や農地の有効活用を推進します。

また、世界農業遺産となった「静岡水わさびの伝統栽培」の認定地域として、水わさびの栽培面積日本一という誇りを持ちながら、質の高いわさびの生産振興と継承を軸にした取り組みを進めていきます。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 農林水産資源の多面的な活用

施策 2 日本一の「わさびの郷」の創出と未来への継承

※DMO

様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体。

## 重点目標3 産業力の強化

政策1 地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」

施策1 東京2020大会を契機とした自転車まちづくりの推進

(写真)

### 〈本市の現状〉

- 🏆 東京 2020 大会自転車競技（トラックレース・マウンテンバイク）の開催地であり、会場である日本サイクルスポーツセンターがある。
- 🏆 伊豆半島1周サイクリングやライド&ライド伊豆狩野川などの自転車を取り巻く環境がある
- 😞 市内にサイクルショップや自転車まちづくりの核となる拠点がない
- 😞 矢羽根などの整備をしているものの自転車に安全に乗る環境整備が不十分

### 〈市民と共有したいありたい姿〉

- 💡 市民が日常的に自転車を利用し、楽しんでいる
  - 市内の観光周遊の移動手段に自転車が選ばれ、市内外の交流や本市の周遊を楽しんでいる
  - 東京 2020 大会後も自転車競技が積極的に行われ、にぎわいが生まれる

- ✓ 競技会場の活用！
- ✓ 自転車を身近に楽しむ取組！

改善

### 〈自転車まちづくり推進に向けた2つの作戦〉

より良く

作戦1	作戦2
東京 2020 大会とその先を見据え、レガシーを継承する取り組みを行います	市民の暮らしに根付いた自転車を活用したまちづくりを行います

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. オリパラ競技会場の聖地化

東京 2020 大会 自転車競技(トラックレース/マウンテンバイク)の開催地というブランドを地域に生み出される持続的な効果に結びつけていきます。

【主な担当課】

東京オリンピック・パラリンピック推進課 / 観光商工課

【主な取組】

- ✓ 県と連携した競技会場の聖地化

---

- ✓ 国内外の各種自転車競技大会への協力・開催

---

- ✓ 日本サイクルスポーツセンターの利用促進

---

- ✓ マウンテンバイク練習コースの活用

### 作戦2. 自転車を活用したまちづくり

サイクリストなどが気軽に利用や交流できる拠点の整備や、自転車が市民生活に根付いていくための活動を推進します。

【主な担当課】

東京オリンピック・パラリンピック推進課 / 観光商工課

【主な取組】

- ✓ サイクリストの拠点整備

---

- ✓ 自転車を活用したコンテンツ開発と販売

---

- ✓ 自転車を活用した健康づくりの推進

---

- ✓ 市民の自転車乗れる率 100%に向けた取り組みの推進

---

- ✓ 地域密着型自転車プロチームとの協働

---

- ✓ 自転車競技の普及に向けた取り組みの推進

## 重点目標3 産業力の強化

政策1 地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」

### 施策2 伊豆市版DMOによる観光地域づくりの推進

(写真)

#### 〈本市の現状〉

- ③ 地域ブランド調査\*1における、全国魅力度ランキング第21位（R2年度）
- ③ 観光客一人当たりの観光消費額は上昇傾向にある
- ☹ 首都圏をターゲットとした「安・近・短の観光」と「世界レベルのリゾート地に向けた観光」の両立に向けた取り組みが必要
- ☹ 観光に携わる団体が一本化されず、機能が不明確、非効率
- ☹ 観光交流客数は、ほぼ横ばいの状況（H28～R2平均：340万人程度）

#### 〈市民と共有したいありたい姿〉

- 💡 多くの観光客が訪れ、交流し、満足度の高い観光地となっている
- ・ 市民が主体となって地域の魅力向上のための地域づくりを行っている
- ・ 市民が伊豆市の資源・環境に誇りを持ち、市外に魅力を発信している
- ・ 新しい生活様式に対応した観光スタイルが確立し、コロナ後も選ばれる観光地として、多くの観光客でにぎわっている

✓ 地域の観光資源の磨き上げ！  
✓ ブランドカアアップ



改善

#### 〈観光地域づくりに向けた2つの作戦〉



より良く

作戦1	作戦2
豊富な地域資源コンテンツの観光への活用を行います	美しい伊豆創造センターとの連携強化を行います

## ＜ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ＞

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. ニーズの多様化に合わせた地域資源コンテンツの観光への活用

観光ニーズの多様化に対応するため、本来的魅力である温泉・食・宿に加え、本市ならではの豊富な地域資源を再発掘・再構築し、観光客の満足度とリピート率の向上を図る必要があります。そのため、伊豆市産業振興協議会を中核主体とした「伊豆市版DMO事業」を強化していきます。

【主な担当課】

観光商工課 / 地域づくり課

【主な取組】

- ✓ 地域資源コンテンツの造成

---

- ✓ 持続的発展に向けた産業振興協議会の機能強化

### 作戦2. 美しい伊豆創造センターとの連携強化

「世界から称賛される美しい半島 伊豆」の実現に向け、美しい伊豆創造センター<sup>※2</sup>との連携により、伊豆半島全域での観光客の積極的な誘致、受け入れ態勢の整備や広域連携による新たな魅力の発信を行っていきます。

【主な担当課】

観光商工課

【主な取組】

- ✓ 広域連携による観光の一体的なブランドづくりの推進

---

- ✓ 美しい伊豆創造センターとの役割の明確化

---

- ✓ 伊豆半島ジオパークの推進

※1 地域ブランド調査

株式会社ブランド総合研究所が実施している「地域が消費者からどれだけ魅力的だと思われるのか」という設問により、地域のブランド力を調査するもの。2020年度調査では調査対象となった1000市区町村中、伊豆市が21位に選ばれた。

※2 美しい伊豆創造センター

7市6町首長会議において策定された「伊豆半島ランドデザイン」を推進するため、設立された組織。伊豆半島内の13市町および、13地域観光協会、商工会議所、商工会、交通事業者、NPO団体などが加盟している。

## 重点目標3 産業力の強化

政策1 地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」

### 施策3 企業誘致や雇用創出に向けた取り組みの強化

(写真)

#### 〈本市の現状〉

- 😊 企業誘致の成果が徐々に出ている  
(H28~R1 で4件の実績)
- 😊 創業者支援制度の活用や、創業セミナーの開催を通じて新規創業者数が着実に増加(H28~R1 実績:33人)
- 😞 人口減少対策に企業誘致と雇用の創出が有効と考えている市民が多い
- 😞 中山間地という立地に加え、農地は水田の青地農地が多く、企業誘致が難しい
- 😞 求人の状況を踏まえると、地域企業などへの雇用のマッチング支援が必要

#### 〈市民と共有したいありたい姿〉

- 💡 企業誘致・留置が、働く場や雇用の確保につながり、人口が増え、活気のあるまちになる
  - ・多様な働き方を実現するための環境が整い、居住の地として本市を選ぶ人が増える
  - ・魅力ある店舗やサービスが増えることで、にぎわいがあふれ、豊かな生活を営める

✓ 仕事に関わる  
ヒト・モノ・コト  
の強化!

改善

#### 〈産業振興や雇用創出に向けた2つの作戦〉

作戦1	作戦2
積極的な企業誘致・留置に向けた取り組みを行います	にぎわいづくりに向けた起業・創業支援を行います

より良く



## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります

### 作戦1. 企業誘致・留置の促進

新たな企業が、市内へ進出しやすくするため、企業が求める情報を積極的に提供するとともに、優遇制度による支援を行っていきます。また、地域企業などへの雇用マッチング支援を行い、企業留置に努めます。

【主な担当課】

企画財政課 / 資産経営課 / 観光商工課 / 学校教育課 / 社会教育課

【主な取組】

- ✓ 公共施設などを活用した企業誘致・留置の促進

---

- ✓ サテライトオフィス、テレワークなどの誘致

---

- ✓ 教育産業にかかる企業の留置

### 作戦2. 起業・創業の促進

個性的で魅力ある店舗や新たな経済循環を創出するため、創業者支援を継続するとともに、支援機関と連携した起業しやすい環境を構築します。また、女性の起業を応援するなど、人材育成にも努めます。

【主な担当課】

観光商工課 / 地域づくり課

【主な取組】

- ✓ 創業者支援制度の継続による起業支援

---

- ✓ セミナー開催など、創業における準備段階のサポート

---

- ✓ 創業希望者に寄り添った人材マッチング支援やフォローアップ

# 重点目標3 産業力の強化

## 政策 2 地域の魅力の創造「豊富な農林水産資源の再構築」

### 施策 1 農林水産資源の多面的な活用

(写真)

#### <本市の現状>

- 😊 地域おこし協力隊制度により新規就農者・林業従事者数が増加（新規就農者数…H28：0人→R1：8人）
- 😊 農業体験等グリーンツーリズム<sup>\*1</sup>のニーズがある。
- 😞 農地取得に関する下限面積の引き下げを実施（30a⇒20a）
- 😞 首都圏のみならず市民の間でも、アクティブシニア層<sup>\*2</sup>から農地付き空き家への移住ニーズが多い
- 😞 森林環境税及び森林環境譲与税<sup>\*3</sup>に関する法律により、森林環境譲与税を活用した林業振興が求められている

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 移住希望者が農業をしながら幸せに暮らすライフスタイルが実現されている
- 就農希望者と地域の連携により、耕作放棄地が解消されていく
- 適切な間伐によって森林環境や景観が保全される

✓ 移住・定住環境の拡充！  
✓ 関わる人づくり！

改善

より良く

#### <農林水産資源の多面的な活用に向けた2つの作戦>

作戦1	作戦2
移住・定住につながる身近な農業の創出を行います	木材の地産地消による林業の振興を行います



## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります

### 作戦1. 移住・定住につながる身近な農業の創出

農業従事者の高齢化と後継者不足、農産物価格の低下、耕作放棄地の増加などの問題に対応しながら地域農業を維持するとともに、アクティブシニア層の移住希望者にニーズの高い、身近に農業を体験できる場の創出を図ります。

**【主な担当課】**

農林水産課 / 地域づくり課

**【主な取組】**

- ✓ 農業委員会と連携した農地取得の下限面積の引き下げや農地付き空き家の提供
- ✓ 地域と連携した新規就農者・移住就農希望者の受け入れ
- ✓ 市民農園、体験農園の充実

### 作戦2. 木材の地産地消による林業の振興

上流部が美しく保たれていることで、下流部の暮らしが成り立つという生命の基本を意識し、森林の適切な育成や良質な木材の生産を図るため、森林環境譲与税を活用した間伐や森林施業の効率化など、木材の効果的な利用を促進します。

**【主な担当課】**

農林水産課

**【主な取組】**

- ✓ 森林環境譲与税の有効活用
- ✓ 伊豆半島の木材流通拠点の創出（令和4年度完成）

※1 **グリーンツーリズム**

緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

※2 **アクティブシニア層**

仕事や趣味などに意欲的で、健康意識が高い傾向にある活発な主に65～75歳の前期高齢者。

※3 **森林環境譲与税**

2019年度より国から自治体に譲与されている、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることのできる税。

## 重点目標3 産業力の強化

### 政策 2 地域の魅力の創造「豊富な農林水産資源の再構築」

#### 施策2 日本一の「わさびの郷」の創出と未来への継承

(写真)

#### <本市の現状>

- 🕒 平成30年3月に「静岡水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産<sup>\*1</sup>に認定され、全国のみならず世界からも注目されている
- 👨‍🌾 生産者は誇りを持ったわさびづくりを営んでいる（わさびの栽培面積：日本一）
- 👨‍🌾 種苗生産者の事業撤退や温暖化により苗の育成が困難になるなど、苗の安定供給が課題
- 👨‍🌾 わさびの郷としての見える化が不十分な状態

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 わさびが市民の誇りとなって自慢されている
- わさびに高い付加価値がつき、安定的な高収入が得られる
- 唯一無二の価値を持つ、豊石式の伝統栽培がしっかりと保全・継承されている

- ✔ 日本一のわさびの持続化！
- ✔ 美しい景観の保全！

改善

#### <日本一のわさびの郷に向けた2つの作戦>

より良く

作戦1	作戦2
さらなる生産振興と技術継承を行います	美しい里山環境の保全を行います



## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります

### 作戦1. わさびの生産振興と継承

伊豆市のわさびの生産振興のため、苗の安定供給による生産性の向上など、高付加価値化に向けた取り組みのほか、技術を継承する担い手を確保・育成を推進します。

【主な担当課】  
農林水産課

#### 【主な取組】

- ✓ 苗の安定供給による生産性向上

---

- ✓ 技術を継承する担い手の確保と育成

---

- ✓ 地理的表示保護制度（GI）※2などを活用したわさびの保護・ブランド化

### 作戦2. 美しい里山環境の保全

世界農業遺産に認定された「静岡水わさびの伝統栽培」など、豊かな資源を将来につなげていくため、里山環境の保全を行うとともに、わさびの畳石式による伝統栽培という唯一無二の価値を世界に向けて発信していきます。

【主な担当課】  
農林水産課 / 企画財政課

#### 【主な取組】

- ✓ 日本一のわさびの郷の保全

---

- ✓ わさびの価値を高めるプロモーションの推進

※1 **世界農業遺産**

世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を国際連合食糧農業機関（FAO）が認定する制度、遺産。日本国内で11の地域が認定されており、当市を含めた「静岡県わさび栽培地域」はH30.3に認定された。

※2 **地理的表示保護制度（GI）**

「夕張メロン」や「神戸ビーフ」のような特定の産地と品質等の結び付きのある農林水産物・食品等の名称を知的財産として保護し、生産者の利益の増進と信頼の保護を図る制度。

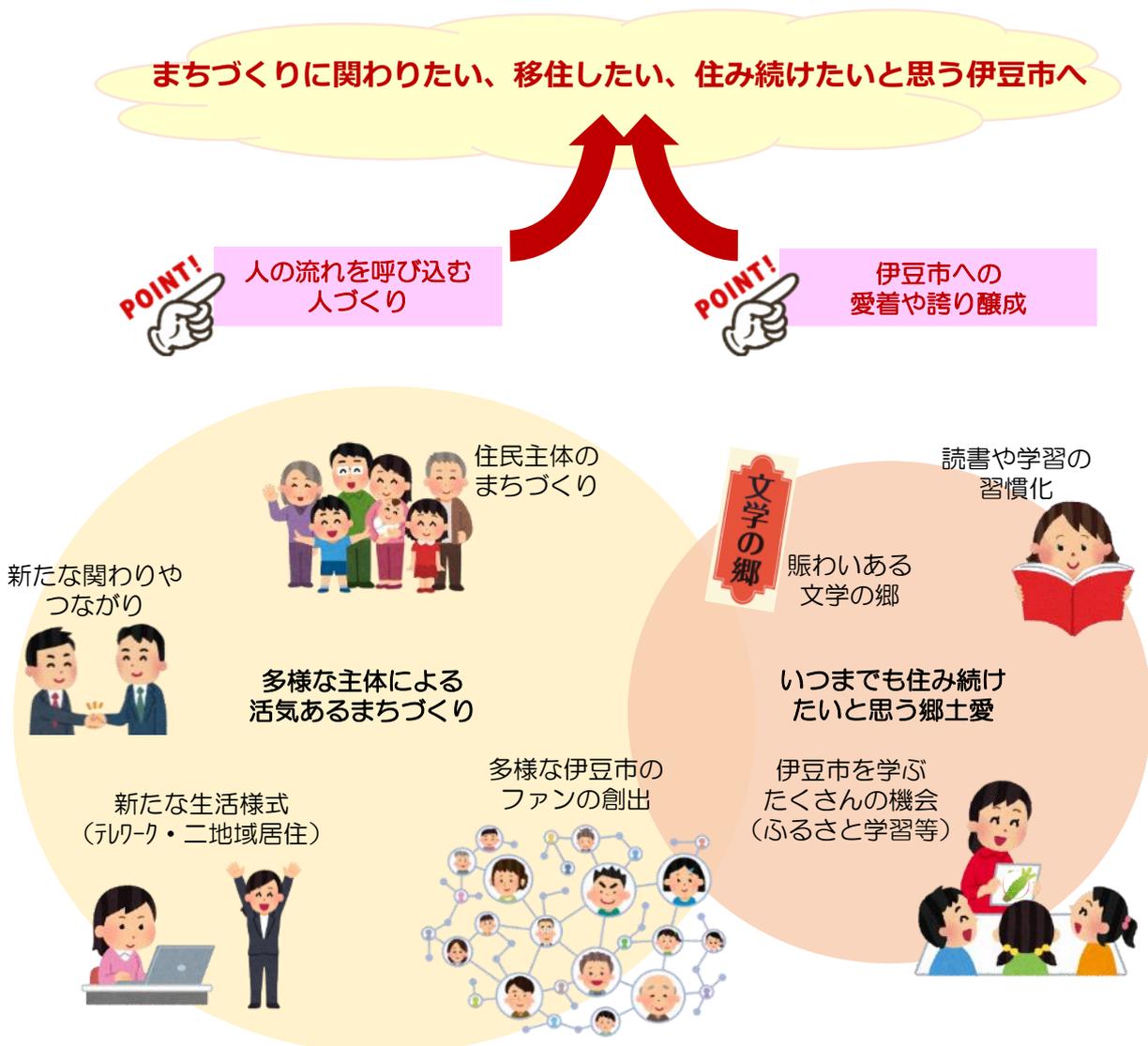
# 重点目標4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

## ＜重点目標4の基本方針＞

多様な主体によるまちづくり活動などによって活気あるまちづくりが実践されるとともに、地域活動を担う人材の育成によって、関わりやつながりを大切にするまちづくりを目指します。

また、ふるさとの魅力を学び、「つながり」や「地域の絆」を育むことで、豊かな自然や景観、歴史、文化が市民の手によって受け継がれ、いつまでも住み続けたいと思える郷土への愛着につなげていくことを目指します。

### 重点目標4の政策イメージ（ラフ案）



## 政策 1 地域の魅力の創造「人の流れを呼び込む人づくりの推進」

市民が伊豆市に住むことに誇りを持って生きいきと生活を営み、その輝きがさらなる人の流れを呼び込む好循環を生み出すため、様々なまちづくりに関する人の連携・協力を促進し、人と人のつながりによるイノベーションを起こすための取り組みを進めていきます。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

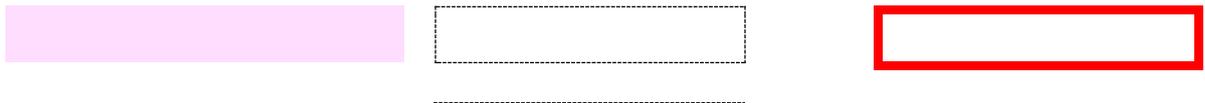
施策 1 まちづくりの多様な担い手の育成

施策 2 新たな交流人口の創出

## 政策 2 地域の魅力の創造「伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成」

本市の文化・芸術を地域の誇り、魅力として捉え、新たな交流や賑わいの創出につなげるため、文化・芸術振興や伝統文化の次代への継承を推進するとともに、ふるさとの魅力を学ぶ機会を創出することで、市民の郷土に対する愛着や誇りを醸成する取り組みを進めていきます。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 伊豆市が誇る文化・芸術資源の活用

施策 2 ふるさとの魅力を学ぶ機会の創出

## 重点目標4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

政策 1 地域の魅力の創造「人の流れを呼び込む人づくりの推進」

施策 1 まちづくりの多様な担い手の育成

(写真)

### <本市の現状>

- 魅力につながるおもしろいことや、まちの活力につながる活動をしている人材が多い
- SNSなどで市の魅力を発信してくれるサポーターがいる
- 市民同士や市外の人（伊豆市と関わりたい人など）と交流できるきっかけや場がない
- 人口減少と高齢化により、地域福祉や地域防災、地域まちづくりなど様々な面で未来に向けて担い手育成を徐々に進めていく必要がある

### <市民と共有したいありたい姿>

- 伊豆市を好きな人がつながり、多様なアクションを行うことで、まちの活力や魅力UPにつながっている
- 多様な主体が自発的に地域課題の解決に向けた取り組みを展開している
- 職員一人ひとりがまちづくりの担い手である意識を持ち、市民と連携しながら地域づくりに取り組んでいる

✓人がつながる場づくり！  
✓人の関わりのサポート！

改善

より良く

### <多様な担い手の育成に向けた2つの作戦>

作戦1	作戦2
人をつなぐプラットフォームを創出し、人づくりを行います	地域づくりのためのヒト・モノ・コトの発掘を行います

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 人をつなぐプラットフォームの創出

地域で活躍する人材を育てるため、人づくりに取り組む人や団体のハブとなる機能を有する「Izu Connect<sup>※1</sup>」を構築し、市民による様々なまちづくり活動を支援し、地域コミュニティの核づくりにつなげます。

#### 【主な担当課】

地域づくり課 / 企画財政課 / 総務課

#### 【主な取組】

- ✓ 「Izu Connect」の構築と活用

---

- ✓ 未来塾の継続と卒業生の支援

---

- ✓ まちづくりや愛着醸成のための職員研修の継続

### 作戦2. 地域づくりのためのヒト・モノ・コトの発掘

伊豆市の魅力の向上のため、市内人材をはじめ、移住者、関係人口<sup>※2</sup>の発掘のための営業活動を行います。また、発掘したヒト・モノ・コトを積極的に支援し、持続的かつ主体的な活動につなげていきます。

#### 【主な担当課】

地域づくり課

#### 【主な取組】

- ✓ ヒト・モノ・コトの発掘のための営業活動

---

- ✓ 相談窓口のワンストップ化

※1 Izu Connect

「関係人口」の創出に向けて、伊豆市のファンを集めることで、ファンが伊豆市を楽しみ、繋がり、情報発信を行うコミュニティとして、地域の活性化に繋げていくための取り組み。

※2 関係人口

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々。

## 重点目標4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

政策 1 地域の魅力の創造「人の流れを呼び込む人づくりの推進」

### 施策 2 新たな交流人口の創出

(写真)

#### <本市の現状>

- 😊 魅力につながるおもしろいことや、まちの活力につながる活動をしている人材が多い（再掲）
- 👤 市民同士や外の人（伊豆市と関わりたい人など）と交流できるきっかけや場がない（再掲）
- 🏠 空き家バンク制度<sup>\*1</sup>を進めており、空き家・空き別荘は数多くあるが、マッチングに課題がある
- 😞 新しい生活様式に対応した働き方、暮らし方（テレワーク・二拠点居住<sup>\*2</sup>等）が注目されている

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 「Izu Connect」やふるさと納税などを活用し、本市の豊かさや魅力を発信・共有することにより、本市のファンや関係人口が増え、将来の移住・定住につながっている
- テレワークや二拠点居住など多様な働き方で自分らしいライフスタイルを本市でできるようになっている

✓ 関わりたくなる  
仕掛けづくり！  
✓ 快適な居場所づくり！

改善

#### <新たな交流人口創出に向けた2つの作戦>

より良く

作戦1	作戦2
関係人口を創出する取り組みを行います	空き家・空き別荘の有効活用を行います

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 将来の移住・定住につながる関係人口の創出

市内にルーツのある市外在住の方や、交流を望む市外の方に対し、SNSを中心とした情報発信により本市のファンとして取り込み、まちづくり活動の側面支援をしてくれる人材や将来的な移住・定住につなげていきます。

【主な担当課】

地域づくり課 / 企画財政課

【主な取組】

- ✓ 「Izu Connect」を場としたマッチング支援

---

- ✓ ふるさと納税やSNSを活用した関わりの創出

### 作戦2. 空き家・空き別荘の有効活用

テレワークを導入する企業の増加を契機に、空き家や空き別荘を活用した二拠点居住などの取り組みを進めるため、空き家バンク登録者を増やし、契約成立件数を増やすなど、新たな交流人口の増加に向けた取り組みを推進します。

【主な担当課】

地域づくり課 / 都市計画課 / 企画財政課

【主な取組】

- ✓ 空き家バンクの活性化

---

- ✓ シェア別荘の試行による二拠点居住の推進

---

- ✓ 片づけやリフォーム補助による空き家活用の推進（再掲）

※1 空き家バンク制度

空き家の賃貸・売却を希望する所有者からの情報を集約し、空き家の利用・活用を希望する方に紹介する制度。

※2 二拠点居住

普段は都会に暮らす人が週末や一年の半分など一定期間を地方で過ごすこと。

## 重点目標4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

### 政策 2 地域の魅力の創造「伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成」

#### 施策 1 伊豆市が誇る文化・芸術資源の活用

(写真)

##### <本市の現状>

- 😊 市民アンケートでの「地域に愛着がある」と回答した人の割合は、R2実績で75.6%となっている
- 😊 「文学の郷構想\*」により井上靖ゆかりの「上の家」の改修整備や、旧営林署跡地の公園整備が進行中
- 😞 「文学の郷」の運営については、ソフト事業を中心とした拠点づくりに移行する必要がある
- 😞 美術館建設においては、維持管理にかかる経費や地域への波及効果の検討が課題

##### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 文学をはじめとした歴史・文化資源が市民の誇りとなって自慢されている
- ・「文学の郷」が地域の交流拠点として形成され、担い手の活躍によりにぎわいであふれている
- ・本市の歴史・文化資源が魅力的に映る取り組みが行われている

- ✓文化・芸術に親しむ  
機会の提供!
- ✓豊かな感性を育む  
機会の提供!

改善

##### <文化・芸術資源の活用に向けた作戦>

###### 作戦1

歴史・文化資源を有効に活用する取り組みを行います

より良く

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 歴史・文化資源の有効活用

市民が文化・芸術に親しむ機会を提供し、豊かな感性や創造性を育む取り組みを推進するとともに、子どもたちが本物の文化・芸術に出会う機会を拡充することにより、地域への愛着や生きる力を育てていきます。

#### 【主な担当課】

社会教育課 / 学校教育課 / 観光商工課 / 企画財政課

#### 【主な取組】

- ✓ 文学の郷の拠点化

---

- ✓ 文学の語り部やガイドの育成

---

- ✓ 美術館構想の実現に向けた検討

---

- ✓ 生きる力を育む実学教育の支援（再掲）

#### ※文学の郷構想

湯ヶ島地区において、地域資源である文学をテーマとした賑わいづくりを推進することで、“文学の郷”として住民と観光客の交流による地域活性化を目指した構想。

## 重点目標4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

政策 2 地域の魅力の創造「伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成」

### 施策 2 ふるさとの魅力を学ぶ機会の創出

(写真)

#### <本市の現状>

- 😊 市民アンケートでの「地域に愛着がある」と回答した人の割合は、R2実績で75.6%となっている（再掲）
- 😊 小中学生は総合的な学習に一生懸命取り組んでいる
- 😊 図書館と子育ての連携が進み、本市独自の取り組みを展開している
- 😞 青少年の健全な育成を目的とした「伊豆っ子宣言<sup>\*1</sup>」について、見える化する取り組みを進めている

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 小さな頃からふるさとのよさを学ぶことにより、地域を知り、地域が好きになる子どもが増える
- ・ 地域の魅力や価値を理解・共有し、地域に愛着を持って住み続けたいと思う人が増えている
- ・ 本を通じた子どもの感性を育む環境が形成されている

- ✓ ふるさとを知って楽しむ！
- ✓ 個性を育む場づくり！

改善

より良く

#### <ふるさとの魅力を学ぶ機会の創出に向けた2つの作戦>

作戦1	作戦2
学校・家庭・地域と連携した伊豆っ子宣言の活用を行います	子どもの感性を育む図書館事業と子育て事業との連携を行います

<ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



**作戦1. 学校・家庭・地域と連携した伊豆っ子宣言の活用**

令和2年11月に制定した伊豆っ子宣言を、学校・家庭・地域と連携した子どもたちの健全育成に役立てるとともに、ふるさと学級<sup>※2</sup>を中心とした社会教育事業、小中学校・高校で実施している総合的な学習（地域学習）などと連携した取り組みを進めていきます。

【主な担当課】

社会教育課 / 学校教育課 / 企画財政課

【主な取組】

- ✓ ふるさと学級の充実

---

- ✓ 資料館と連携した地域を学ぶ場の創出

---

- ✓ 小中高生の総合的な学習（地域学習）の時間の充実

**作戦2. 図書館事業と子育て事業との連携強化**

本市独自の取組みである図書館事業と子育て事業の連携をさらに深め、本にふれあう機会の創出を図るとともに、子どもの感性を育む取り組みを進めます。

【主な担当課】

社会教育課 / 子育て支援課 / 健康長寿課

【主な取組】

- ✓ ベビータイム<sup>※3</sup>の拡充

---

- ✓ 幼児検診時などの出張読み聞かせの拡充

---

- ✓ 生きいきプラザを活用したおはなし会の拡充

※1 伊豆っ子宣言

伊豆市の子どもたち（伊豆っ子）の健全育成の指針とするものであり、個々の資質を高め、愛郷心の醸成を図るべく策定された宣言

※2 ふるさと学級

市内小学校4～6年生を対象に、伊豆市ならではの自然や歴史を学ぶ講座を開催することで、子どもたちの愛郷心やふるさとへの誇りを高める取り組み

※3 ベビータイム

修善寺図書館において、開館時間の一部を「ベビータイム」として設定し、赤ちゃんや小さな子ども連れの親子が図書館を利用しやすい機会を提供する取り組み

# 重点目標5 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

＜重点目標5の基本指針＞

「ネットワーク型コンパクトタウン」によるまちづくりを推進し、拡散型から拠点集約型へ都市構造の転換を進めながら、各地区の地域特性を活かした拠点づくりと各種生活サービスを充足し、効率的な都市経営を図ることで、人口規模がある程度減少しても都市機能が維持され、市民が安心して暮らせるまちを目指します。

また、伊豆縦貫自動車道の南進や基幹道路などの整備により、ヒトやモノの流れが強化されるとともに、市民が困らないための総合的な交通体系の構築を目指します。

重点目標5の政策イメージ（ラフ案）



## 政策 1 未来を切り拓くためのまちづくり

---

人口規模がある程度縮小する中でも、しっかりと都市機能が維持されるよう、一定のエリアには病院やスーパー、学校、役所などの市民生活に欠かせない施設を集約していくとともに、魅力あふれるまちなみを創生していきます。また、快適な住空間創出のため、無秩序に住宅が拡散しないよう誘導を行いながら、持続性のある拠点づくりを進めます。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 中心市街地への都市機能の集約

施策 2 適正な宅地化の誘導

## 政策 2 地域力の向上

---

人口減少によって半公共的機能を担ってきた地域コミュニティの維持が難しくなることを防ぐとともに、地域の課題を自らが考え、創意工夫を重ねていくために、既に設立された8つの地域づくり協議会に加え、新たな協議会の設立を促進します。

また、地域生活交通の維持のため、利用しやすい公共交通の促進を図ります。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 開かれた地域づくりの推進

施策 2 地域生活交通の維持

# 重点目標5 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

## 政策 1 未来を切り拓くためのまちづくり

### 施策 1 中心市街地への都市機能の集約

(写真)

#### <本市の現状>

- ☹️ 新中学校の建設に伴い、修善寺駅周辺の人の流れが増加する見込み
- 😞 修善寺駅周辺には空き店舗が点在しているが、店舗兼居住が多く、借りることが難しい
- 😞 修善寺駅周辺には観光客が交流できる場や歩いて楽しめる場がない
- 😞 駅周辺の慢性的な交通渋滞が課題
- 😞 子育てママたちからは狩野川記念公園や六仙の里の魅力UPが期待されている

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 修善寺駅周辺が本市の玄関口として良いイメージを持たれ、市民と観光客が交流し、にぎわいにあふれる場となっている
- 交差点改良などにより、駅周辺の交通渋滞が緩和している
- 子育て世代が公園に集い、子どもも親も伸び伸び育っている

- ✓ 利便性向上、快適な環境づくり!
- ✓ 魅力的な場づくり!



#### <中心市街地への都市機能の集約に向けた2つの作戦>

作戦1	作戦2
修善寺駅周辺整備を行います	安心して遊べる身近な公園整備を行います

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 修善寺駅周辺整備

修善寺駅周辺が本市の玄関口、また、中心市街地として市民や来訪者の交流を創出するため、個性的なショップの誘致や伊豆総合高校生と連携したにぎわいづくりなど、中心的な拠点づくりを進めていきます。

#### 【主な担当課】

都市計画課 / 観光商工課 / 企画財政課 /  
地域づくり課 / 新中学校WG

#### 【主な取組】

- ✓ 交通渋滞緩和に向けた道路拡幅などの検討

---

- ✓ 立地適性化計画\*の策定に向けた検討

---

- ✓ 個性的なショップづくりや空き店舗の活用

---

- ✓ にぎわい創出のための西口広場の積極的な活用

---

- ✓ 新中学校の建設  
(令和7年4月開校) (再掲)

### 作戦2. 身近な公園整備

子どもに健全な遊びや豊かな情操を育てるために子育て世代が集える身近な公園の整備を推進し、コロナ禍においても密にならずに安心して遊べる場を整備します。

#### 【主な担当課】

都市計画課 / 社会教育課 / 観光商工課 /  
(仮称) 日向公園WG

#### 【主な取組】

- ✓ (仮称) 日向公園の整備  
(令和7年度完成) (再掲)

---

- ✓ 狩野川記念公園の魅力向上

---

- ✓ 六仙の里公園の魅力向上

#### \*立地適正化計画

コンパクトなまちづくりの形成を促進し、生活サービス機能を計画的に誘導していくために、おおむね20年後の都市の姿を展望して策定する計画。

## 重点目標5 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

### 政策 1 未来を切り拓くためのまちづくり

#### 施策 2 適正な宅地化の誘導

(写真)

##### <本市の現状>

- ☹️ 牧之郷地区は、人口や世帯数が増加している（H28～R2実績：+61人 +64世帯）
- ☹️ 都市計画の見直しにより、鉄道駅から約1km圏内への住宅立地件数が増加。（H28～R2実績：延べ50件）
- ☹️ 農地などの規制により、住宅開発できる土地が少ない
- ☹️ 空き家のストックが少ない（空き家は多くあるが、貸してもらえない）
- ☹️ 各地区で小学校の生徒数が減少（H28とR2の比較：土肥小△18人、天城小△40人、中伊豆小△34人）

##### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 拠点性の高いエリアの都市機能が維持され、不便なく日常の暮らしを営める環境が整っている
- 居住環境が整っていて、子どもやファミリー層が安心して暮らしていける
- 各地区の特色ある拠点づくりが進み豊かな生活が継続されている

✓生活に困らない  
環境づくり！  
✓人を増やす住宅政策！

改善

##### <適正な宅地化の誘導に向けた2つの作戦>

より良く

作戦1	作戦2
牧之郷駅周辺整備を行います	拠点性の高いエリアへの居住環境整備を行います

<ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



**作戦1. 移住・定住を促す牧之郷駅周辺整備**

伊豆箱根鉄道と協力・連携しながら地域住民や駅利用者の利便性・安全性の向上を図るとともに、土地利用を具体化し、移住・定住を促進するため、駅西口に駅前広場や連絡道路を整備します。

【主な担当課】  
都市計画課

【主な取組】

- ✓ 牧之郷駅周辺整備  
(令和5年度完成)

---

- ✓ 牧之郷駅周辺の基盤整備に伴う民間開発の誘導

**作戦2. 拠点性の高いエリアへの良好な居住環境の創出と重点空き家の活用**

人口が減少していく中で都市機能を維持するためには、一定の居住人口の確保が重要となります。そのため、小学校のある土肥地区、青羽根地区、八幡地区周辺といった拠点性の高いエリアに日常生活に欠かせない生活環境を整えるとともに、新たな住宅地の創出や活用可能空き家を重点的に活用していきます。

【主な担当課】  
都市計画課 / 地域づくり課 / 企画財政課 / 資産経営課

【主な取組】

- ✓ 土肥地区・青羽根地区・八幡地区周辺への住宅地の創出（再掲）

---

- ✓ 土肥地区・青羽根地区・八幡地区周辺にある活用可能空き家の積極的な活用（再掲）

---

- ✓ 片づけやリフォーム補助による空き家活用の推進（再掲）

# 重点目標5 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

## 政策 2 地域力の向上

### 施策 1 開かれた地域づくりの推進

(写真)

#### <本市の現状>

- 😊 地域づくり協議会がまちづくりの主体となって活動を展開
- 😊 本市では女性の創業者数が県内トップなど、女性の活躍の場が多い
- 😞 社会全体として、多文化共生<sup>\*1</sup>やLGBTQ<sup>\*2</sup>への理解が必要
- 😞 地域づくり協議会は採算性のある取り組みが少なく、自立的な運営が課題
- 😞 市域が広く、120を超える行政区がある

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 住民が困りごとなく幸せに暮らそうづけられるよう、地域づくり協議会などによる共助のまちづくりが行われている
- 地域づくり協議会が地域資源を活用し、自ら稼ぐ力を高めている
- 地域が多様性を認め、受け入れながら暮らすことができるようになっていく

- ✓ 地域や人が高め合う  
風土づくり!
- ✓ お互いに認め合う  
社会づくり!

改善

より良く

#### <開かれた地域づくりの推進に向けた2つの作戦>

作戦1	作戦2
地域づくり協議会の主体的な活動に向けた支援を行います	多様性を認め合う共生社会の実現に向けた取り組みを行います

## ＜ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ＞

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 地域づくり協議会の活動支援と運用見直し

地域の課題を自らが考え、創意工夫を重ねていくために、既に設立された8つの地域づくり協議会に加え、新たな協議会の設立を促進します。また、設立年数が10年を超えた協議会の段階的な自立を促し、地域資源を活用した稼ぐ力を高める主体的な活動を支援します。

【主な担当課】  
地域づくり課

#### 【主な取組】

- ✓ 地域づくり協議会の設立支援

---

- ✓ 特色ある地域活動の支援・促進

---

- ✓ 地域づくり協議会の自立に向けた支援

### 作戦2. 多様性を認め合う共生社会の実現

男女が対等に責任を分かち合う男女共同参画への意識の向上、お互いを理解し、共に暮らしていく多文化共生の実現や外国人の受け入れ、LGBTQの尊重など、性別や国籍にとらわれず、それぞれの能力を発揮し、活躍できる社会づくりを推進します。

【主な担当課】  
地域づくり課

#### 【主な取組】

- ✓ 男女共同参画の推進

---

- ✓ 多文化共生への理解

---

- ✓ LGBTQの尊重

#### ※1 多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

#### ※2 LGBTQ

レズビアン（性自認が女性の同性愛者）、ゲイ（性自認が男性の同性愛者）バイセクシャル（男性と女性両方を愛することができる）トランスジェンダー（性自認と実際の性が異なる）に加え自分の性がわからないクエスチョニングと性的少数者クィアを加えた、セクシャルマイノリティ全般。

# 重点目標5 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

## 政策 2 地域力の向上

### 施策 2 地域生活交通の維持

(写真)

#### <本市の現状>

- ④ 乗らない⇨便がないという負のスパイラルが発生している
- ④ 公共交通に関する満足度が低い（過去3年の平均 19.6%）
- ④ 不採算バス路線の自主運行（17系統）に約6,200万円（R2実績）の経費がかかっている
- ④ 高齢者の運転不安にかかる免許返納を推進するためには、生活支援をセットで行う必要がある

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 🔦 公共交通と住民主体の足の支援がバランスよく整備され、市民が移動に不便なく暮らせる
- 地域交通を通じた支え合いにより、安心安全なコミュニティが形成されている
- 安心して学校に通える環境が整備され、不便なく登下校できる（再掲）

- ✓ 公共サービスの維持！
- ✓ 地域での支え合いによる移動支援！

改善

#### <地域生活交通の維持に向けた2つの作戦>

作戦1	作戦2
公共交通の利用促進と維持を行います	地域の実情に応じた住民相互の支援による足の確保を行います

より良く

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 公共交通の利用促進と維持

市民の生活交通を確保するため、市独自の小中高生への通学費補助、高齢者バス利用助成などの利用促進策を講じるとともに、不採算バス路線に対する支援や高齢者福祉タクシー券の配布を行い、公共交通の維持に努めます。

#### 【主な担当課】

地域づくり課 / 健康長寿課 / 学校教育課

#### 【主な取組】

- ✓ 小中高生への通学費補助

---

- ✓ 高齢者に対するバス利用助成

---

- ✓ 不採算バス路線に対する支援

---

- ✓ 高齢者福祉タクシー・鉄道・バス等利用助成券の配布

### 作戦2. 地域の実情に応じた住民相互の支援による足の確保

地域の実情に応じた生活交通の効率的な輸送サービスの確保に向け、地域づくり協議会や交通事業者と連携した対応策の検討を促進します。また、運転に不安のある高齢者の事故防止のために、生活に支障にない支援をセットで検討しながら、運転をアシストする制度の啓発や免許返納にかかる運転経歴証明書の発行費用を助成します。

#### 【主な担当課】

地域づくり課 / 健康長寿課

#### 【主な取組】

- ✓ 地域づくり協議会や交通事業者と連携した輸送サービスの確保

---

- ✓ サポカー補助金<sup>\*</sup>など、運転アシスト機能に対する啓発・支援

---

- ✓ 運転経歴証明書の発行費用の助成

#### ※サポカー補助金

65歳以上の高齢運転者を対象に、対歩行者衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制装置を搭載する車や、後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置の購入を支援する補助金制度。

# 重点目標6 将来にわたる安定的な財政運営の堅持

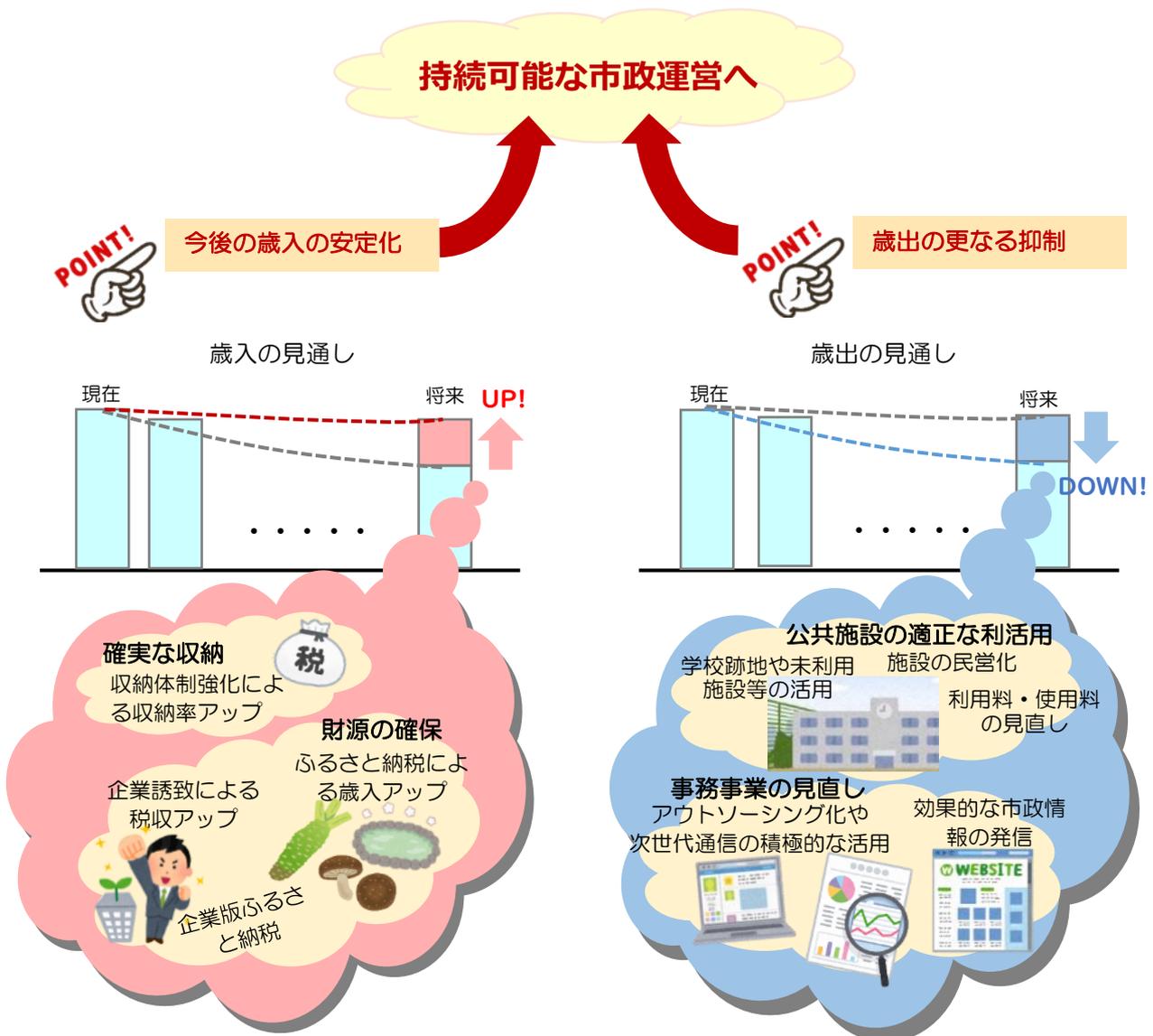
＜重点目標6の基本方針＞

人口減少の進行や社会情勢の変化によって市内GDPや税収が大きく落ち込む可能性がある一方で、令和6年度まで新市建設に基づく合併特例債などを活用した大型事業による歳出が続きます。

将来にわたって持続可能な市政運営を推し進めるためには、今後の本格的な人口減少社会の到来や厳しい財政状況を見据え、長期的な視野に立った準備を周到に進めておく必要があります。

そのため、「安定的な歳入の確保」と「徹底した歳出の抑制」を両立させ、財務体制の強化を図ることを目指します。

## 重点目標6の政策イメージ



## 政策 1 安定した歳入の確保

---

自主財源の中心である市税に対する納付意識の向上を図りつつ、丁寧な催告や滞納処分の実施とともに、納税手段の拡大により、収納率を高めていきます。

また、貴重な財源として期待できるふるさと納税を中心に、企業版ふるさと納税<sup>\*</sup>、企業誘致、移住・定住の促進などに取り組むシティセールス担当職員を配置し、「稼ぐ力」を強化していきます。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 収納対策の強化

施策 2 財源の確保

## 政策 2 徹底した歳出の抑制

---

令和6年度末までに新市建設計画に基づく重要事業が最終段階に入ることから、合併特例債などを活用した将来を見越した事業が続きます。その一方で、他の既存事業については、不断の見直しを行い、徹底的な歳出の抑制を図っていきます。特に公共施設の適正化については、最重要課題として取り組むこととし、また、外部委託が可能で市民サービスの向上も見込める業務については、できる限り包括的なアウトソーシング化を検討し、経費の縮減を図っていきます。

### ■ 目標指標



### ■ 施策

施策 1 公共施設の適正化

施策 2 事務事業の見直し

<sup>\*</sup>企業版ふるさと納税

企業が、自治体の実施する「地方創生に係る事業」に対して寄附を行う場合、寄附額の最大9割が税額控除される制度。

## 重点目標6 将来にわたる安定的な財政運営の堅持

### 政策 1 安定した歳入の確保

#### 施策 1 収納対策の強化

(写真)

##### 〈本市の現状〉

- ☹️ 人口（納税者）は減っているが、本市の税収は横ばいで推移している。（平均すると43億円程度）
- ☹️ 本市の収納率（市県民税）は、県平均と比べて低い状況

##### 〈R1 現年・収納率実績〉

市県民税(個人) 98.4%  
⇒ 県平均 98.9%  
固定資産税 98.06%  
軽自動車税 97.84%  
国民健康保険税 95.02%  
入湯税 99.73%

##### 〈市民と共有したいありたい姿〉

- 💡 安定した税収を確保し、市民サービスの有効な財源として使われている
- 収納率が向上し、市県民税(個人)が県平均程度となっている
- 効果的な滞納整理がされている

✓ 収納率アップ!  
✓ 便利な納付環境!

改善

##### 〈収納対策強化に向けた作戦〉

###### 作戦1

滞納整理対策強化チームの  
設置による収納対策  
強化を行います

より良く



## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります

### 作戦1. 滞納整理対策強化チームの設置による収納対策強化

税務課内に滞納整理対策強化チームを設置し、従来から実施している電話催告や差押えなどの滞納処分を強化するとともに、電子マネーなどで納付できる納税手段の拡充を図り、収納対策を強化していきます。

#### 【主な担当課】

税務課

#### 【主な取組】

- ✓ 滞納整理対策強化チームの設置

---

- ✓ 静岡県滞納整理機構※との連携

---

- ✓ 電子マネーなどで納付できる納税手段の拡充

※静岡県滞納整理機構

静岡県と県内すべての市町が協力し、地方税の徴収が難しい滞納を協働して専門的に処理する広域連合。

## 重点目標6 将来にわたる安定的な財政運営の堅持

### 政策 1 安定した歳入の確保

### 施策 2 財源の確保

(写真)

#### <本市の現状>

- 😊 ふるさと納税の実績が徐々に上がっている (R2 実績: 5 億 7 千万円)
- 😞 ふるさと納税や企業版ふるさと納税※など新たな財源確保の手法が注目されている
- 😞 新市建設計画に基づく重要事業により積極型の財政出動が続く
- 😞 歳入は今後減少の見込み (R1: 19,392 百万円 → R10: 16,707 百万円)
- 😞 合併特例債に代わる新たな財源が必要

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 市内にルーツのある市外在住の方や伊豆市のファンが、本市のふるさと納税を積極的に応援し、貴重な財源を確保している (目標金額 10 億円)
- 地域資源が魅力化され、企業版ふるさと納税が活用されている
- 企業が本市に本社や支社を置き、地域に雇用やにぎわいが生まれている

- ✓ 稼ぐ力と営業力の強化!
- ✓ ふるさと納税の強化!

改善

より良く

#### <財源の確保に向けた作戦>

##### 作戦 1

シティセールス担当職員の設置による財源確保を行います

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります

<SDGs への貢献>



### 作戦1. 「稼ぐ力」を強化するシティセールス担当職員の設置

安定的な財源確保を行うため、営業的視点を持った「取りに行く」姿勢を積極的に示し、今後も貴重な財源として期待できるふるさと納税を中心に、企業版ふるさと納税、企業誘致・留置、移住・定住の4つの獲得を命題とした「稼ぐ力」を強化するためのシティセールス担当を設置します。

#### 【主な担当課】

企画財政課 / 地域づくり課

#### 【主な取組】

- ✓ シティセールス担当職員の配置
- ✓ ふるさと納税における取り扱いサイトの拡充、返礼品の充実
- ✓ 企業版ふるさと納税<sup>\*</sup>獲得のための営業活動
- ✓ 企業誘致・留置のための営業活動
- ✓ 移住・定住の促進につながる営業活動

#### ※企業版ふるさと納税

企業が、自治体の実施する「地方創生に係る事業」に対して寄附を行う場合、寄付額の最大9割が税額控除される制度。

# 重点目標6 将来にわたる安定的な財政運営の堅持

## 政策 2 徹底した歳出の抑制

### 施策 1 公共施設の適正化

(写真)

#### <本市の現状>

- ☹️ 新市建設計画に基づく重要事業により積極型の財政出動が続くため、徹底した歳出の抑制が求められる
- ☹️ 公共施設数が他市に比べ圧倒的に多いため、歳出抑制に向け維持管理などを見直す必要がある
- ☹️ 公共施設等総合管理計画を策定済
- ☹️ 新中学校の建設により、既存中学校の跡地が発生する
- 🌀 未利用ならびに老朽化した公共施設が多い

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 💡 公共施設数や維持管理の適正化が進むとともに、市民の利便性を落とさない活用がされている
- 未利用施設や老朽化した公共施設、借地などが解消され、適正に維持管理されている
- 公共施設が再整理され、まちづくりや交流の場として役立っている

- ✓ 施設の大胆な活用！
- ✓ 中学校の跡地活用の検討！

改善

より良く

#### <公共施設の適正化に向けた3つの作戦>

作戦1	作戦2	作戦3
公共施設等総合管理計画に基づいた取り組みを行います	市営観光施設の民営化に向けた検討を行います	新中学校整備に伴う跡地活用の検討を行います

## 〈ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ〉

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 公共施設等総合管理計画の推進

公共施設において長く休眠状態のものや老朽化による改修などが合理的でないもの、赤字が大きいものについては、資産経営の観点から民間譲渡や用途廃止を含めて検討するとともに、借地の解消や使用料などの適正な額の再検証に向けて、引き続き取り組んでいきます。

【主な担当課】

資産経営課 / 企画財政課

【主な取組】

- ✓ 公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定

---

- ✓ 未利用財産の売却や企業誘致などによる利活用

---

- ✓ 各地区拠点づくりの推進

### 作戦2. 市営観光施設の民営化に向けた検討

市営観光施設における利用需要の変化や老朽化による維持・補修経費の増加を踏まえ、民間の資金やノウハウの積極的な活用を進めるとともに、場合によっては、譲渡や売却も視野に入れた大胆な活用策を検討するなどの効率化と効果的な財産の活用を図っていきます。

【主な担当課】

資産経営課 / 観光商工課 / 企画財政課

【主な取組】

- ✓ 民間活用の検討  
(虹の郷、だるま山レストハウス・キャンプ場、天城ふるさと広場、萬城の滝など)

### 作戦3. 新中学校整備に伴う跡地活用の検討

令和7年4月開校予定の新中学校整備に伴い、跡地となる中学校について、施設の老朽度、重要度などを踏まえながら、施設の廃止や用途・機能の見直しなどを計画的に進め、都市機能の維持や次世代の財政負担軽減につなげていきます。

【主な担当課】

資産経営課 / 学校教育課 / 企画財政課 / 都市計画課

【主な取組】

- ✓ 中学校跡地活用の検討
  - 〔 修善寺中学校  
天城中学校  
中伊豆中学校と中伊豆小学校

# 重点目標6 将来にわたる安定的な財政運営の堅持

## 政策 2 徹底した歳出の抑制

### 施策 2 事務事業の見直し

(写真)

#### <本市の現状>

- 市ではプレスリリースやプロモーションなど、情報発信を強化している
- 新市建設計画に基づく重要事業により積極型の財政出動が続くため、徹底した歳出の抑制が求められる
- ホームページの更新を予定している
- 5G や 6G、DX（デジタルトランスフォーメーション）といったデジタル技術の導入が注目されている
- 市の業務は、国・県からの権限移譲などにより、年々増えており、約700もの業務を展開している

#### <市民と共有したいありたい姿>

- 業務の効率化に伴い、市の経費が削減され、歳出が抑制される
  - 質と量にこだわった情報発信が行われ、市民に関心事として情報が行き届いている
  - デジタル技術の活用により、地方においても都市部と遜色ない生活が送れる

✓業務の効率化！  
✓有効なプレスリリースによる市のイメージアップ！

改善

#### <事務事業の見直しに向けた4つの作戦>

より良く

作戦1	作戦2	作戦3	作戦4
包括的なアウトソーシング化の検討を行います	積極的な市政情報の発信を行います	デジタル技術の積極的な活用を行います	水道事業統合等による経営基盤の強化を行います

## <ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ>

※ 主な取組についての具体的記述は、資料編〇ページになります



### 作戦1. 包括的なアウトソーシング化の検討

現在市が実施している約700もの業務のうち、外部委託できるものとできないものの仕分け作業を進め、公共施設の管理運営経費の改善や効果的な資産運用を行うとともに、証明書発行・相談業務の一元化などについても検討し、段階的に包括的なアウトソーシング化を進めていきます。

#### 【主な担当課】

総務課 / 資産経営課 /  
施設管理・市民窓口所管課

#### 【主な取組】

- ✓ 包括的アウトソーシング※1の推進

### 作戦2. 積極的な市政情報の発信

職員一人ひとりが広報マンであることを自覚し、効果的なプレスリリースを行うため、リリース内容の質と量の向上を図ります。また、現行のホームページのリニューアルに伴い、見やすく、情報をすぐに見つけられるものを構築します。

#### 【主な担当課】

企画財政課

#### 【主な取組】

- ✓ プレスリリースの質と量の向上
- ✓ 見やすく検索しやすいホームページの構築

※1 アウトソーシング

経費削減などの目的で業務の一部またはすべてを外部の業者に委託すること。

### 作戦3. デジタル技術の積極的な活用

超高速・大容量な通信ネットワークにより、テレワーク・遠隔操作・遠隔医療・遠隔教育・自動運転など、働く場所や時間の制約が完全撤廃されることが予想される中、5Gや6Gという次世代通信により、地方と都市部の文化的格差を解消や地方の生活利便を高めるものとして活用するとともに、行政事務の効率化にも積極的に活用していきます。

#### 【主な担当課】

地域づくり課 / 企画財政課 / 学校教育課

#### 【主な取組】

- ✓ 次世代通信の積極的な活用
- ✓ 自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）<sup>※2</sup>の推進

### 作戦4. 公営企業<sup>※3</sup>の経営基盤強化

水道事業と簡易水道事業を統合し、施設の整備・更新及び事業運営の効率化と経営基盤を強化することにより、安全・安心な水道水の安定供給の持続に努めます。

また、下水道事業・農業集落排水事業・合併浄化槽事業の最適化を図り、投資経費と維持管理経費を抑制し経営基盤を強化することにより、生活排水対策の維持向上に努めます。

#### 【主な担当課】

上下水道課

#### 【主な取組】

- ✓ 水道事業と簡易水道事業<sup>※4</sup>の統合
- ✓ 下水道・農業集落排水<sup>※5</sup>・合併浄化槽事業の最適化

#### ※2 自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）

従来アナログで運用していた業務やデータをデジタル化して共有することで、地域住民等が社会的な課題解決につなげる取り組み。

#### ※3 公営企業

地方自治体が経営する水道事業や病院事業、交通事業など、特別会計を設けて運営される事業。

#### ※4 簡易水道事業

水道法により、給水人口 101 人以上 5,000 以下に給水する水道事業。

#### ※5 農業集落排水事業

小さな集落が分散しているところで、下水道よりも小さい集落単位の規模で汚水処理して、効率的に農業用水路や河川に戻す事業。